国立教育政策研究所プロジェクト研究
「不登校・いじめ等の生徒指導上の諸課題と学校風土等との関連及び効果的な取組等に関する調査研究－地域との中・長期的な連携を生かして－」
（令和６年度～９年度）

中間報告書（学校風土・生徒指導改善調査チーム）の概要

令和８年７月

本報告書は、同プロジェクト研究の「学校風土・生徒指導改善調査チーム」による**令和６年度調査の研究結果を取りまとめた中間報告書**である。

【背景・問題意識】

- 不登校・いじめ等の生徒指導上の諸課題については、事後対応だけでなく、**全ての児童生徒の発達を支える取組が重要**である。
- 改訂『生徒指導提要』で重視される**発達支持的生徒指導**を、学校現場で**どのように把握し、確認・点検し、改善につなげるかが課題**である。
- 本研究では、学校への好感や所属意識、心理的な安心感を表す「**学校とのつながり**」を中核に、学校風土を多面的に測定する調査票を開発し、その構造と生徒の行動との関連を検討した。

【研究の目的】

- 日本の中学校で用いることのできる**学校風土を確認・点検するためのツールを開発**する。
- 学校風土を構成する諸要因の**尺度構成**、**信頼性**及び**構造的関係を検討**する。
- 「**学校とのつながり**」と、「**いじめ加害経験**」、「**欠席意向・欠席行動**」及び「**社会的態度・行動**」との関連を検討する。
- 学校風土調査を、教育委員会や学校による**発達支持的生徒指導の機能の確認・点検と改善の循環へと接続**するための基礎的知見を得る。

【研究の方法】

- 地域連携協定を締結した複数の教育委員会が所管する**公立中学校（生徒）**を対象に、**オンライン質問紙調査**を実施。
- 探索的因子分析により、尺度構成を検討し、共分散構造分析により学校風土モデルを検証。
- 回帰分析により、「学校とのつながり」と、**生徒の諸課題（いじめ・不登校）**及び**社会性との関連**を検討。

【調査対象と回答率等】

項　目	内　容
調査対象	地域連携協定を締結した複数の教育委員会所管の公立中学校
対象校・対象者	69校・27,533名
回答	58校・15,377名
回答率	55.9%
方法	オンライン質問紙調査（Google フォーム）

中間報告書（学校風土・生徒指導改善調査チーム）の概要

【学校風土尺度の構成と仮説モデルの検証】

１．学校風土尺度の構成

・以下のとおり、各尺度はおおむね良好な因子構造と内的一貫性を示し、**学校風土を多面的に把握する尺度群として整理**された。

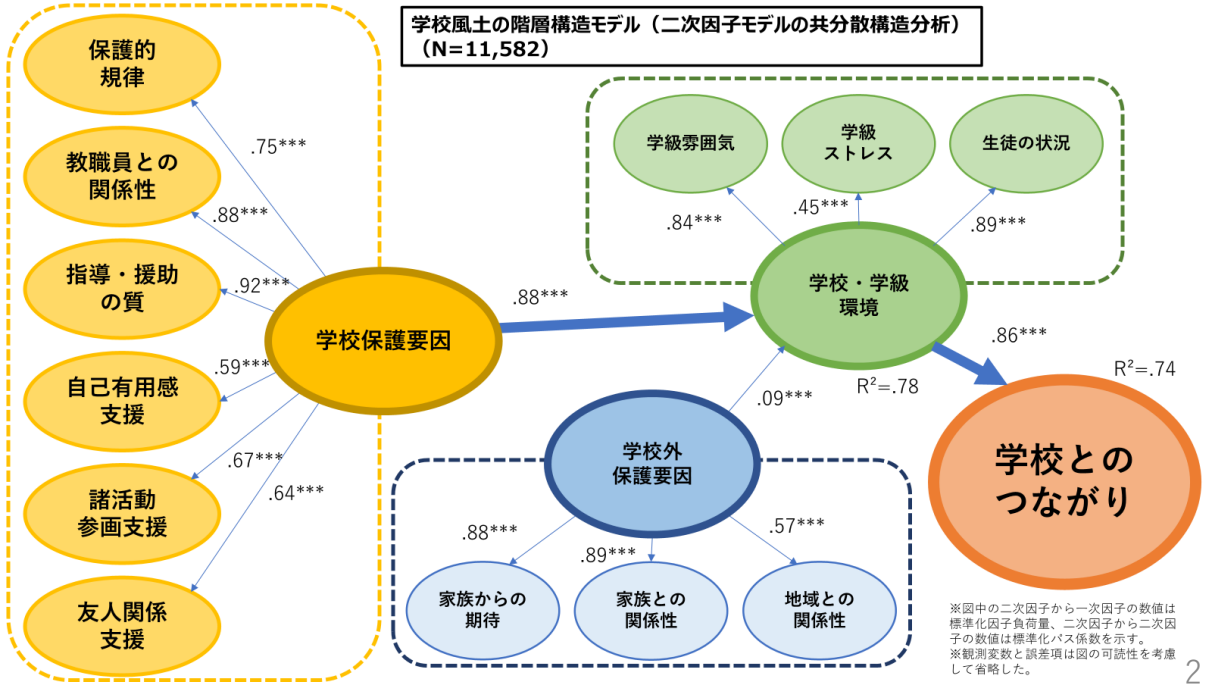
領　域	下位概念	指標の位置付け	主な内容
学校とのつながり	・学校とのつながり	**成果指標**	学校への好感、所属意識、心理的な安心感
学校保護要因	・教職員との関係性	**学校の取組で改善可能なプロセス指標**	教職員からの期待、傾聴、承認
	・保護的規律		問題行動への適切で一貫した注意・指導
	・指導・援助の質		学習や生活、対人関係に関する指導と援助の質
	・自己有用感支援		他者に役立ち認められる機会の提供とその支援
	・諸活動参画支援		学校・学級活動への参加と意思決定場面の提供等
	・友人関係支援		友人関係づくりへの支援
学校・学級環境	・学級雰囲気	学校経験を支える補助的指標	学級内での協力関係、安心感、規律、学習しやすさ
	・学級ストレス		学級内での緊張や不快感、いらだち
	・生徒の状況		生徒の協調性、学習態度、思いやり、相互の尊重
学校外保護要因	・家族からの期待	学校外での支援的資源	家族からの応援や励まし、学習への関心
	・家族との関係性		家族との対話、経験の共有、家庭への関与
	・地域との関係性		地域の大人からの信頼と承認
社会的態度・行動	・思いやりと責任ある行動	生徒の発達的側面（社会性）の指標	他者への配慮、役割責任、援助行動
	・学習意欲		学習への関心、努力、向上心
	・共感性		他者理解、傾聴、多様な考えの受容
	・課題解決力		悩みや問題への対処、援助希求
	・活力		活動性、熱意、元気さ

２．学校風土の仮説モデルの検証

・共分散構造分析の結果、**「学校保護要因」が「学校・学級環境」と強く関連**し、さらに**「学校・学級環境」が「学校とのつながり」と強く関連**するモデルが示された。

・「学校外保護要因」から「学校・学級環境」への関連も統計的には有意であったが、関連の大きさは限定的であった。

・この結果は、生徒の学校・学級での経験には、家庭や地域との関係も一定程度関わる一方で、**学校内における教職員の働きかけや組織的取組が、より大きく関連している可能性**を示している。



中間報告書（学校風土・生徒指導改善調査チーム）の概要

【「学校とのつながり」と生徒の行動との関連】

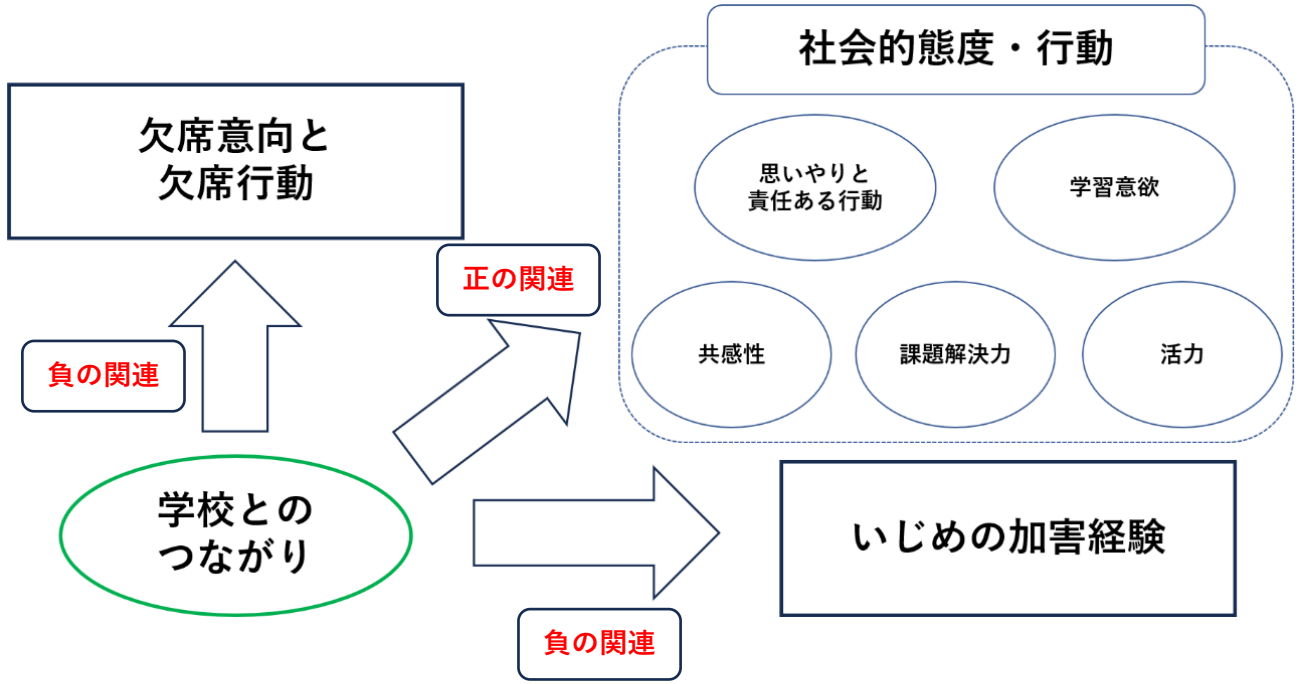
１．「学校とのつながり」と生徒の諸課題との関連
・いじめ加害経験：負の関連
・欠席意向・欠席行動：負の関連

「学校とのつながり」は、あらゆる行為類型の「いじめ加害経験」において有意な負の関連を示し、また、**「欠席意向有り・欠席行動無し」及び「欠席意向有り・欠席行動有り」のいずれとも有意な負の関連**を示した。

２．「学校とのつながり」と「社会的態度・行動」との関連
・思いやりと責任ある行動：正の関連
・学習意欲：正の関連
・共感性：正の関連
・課題解決力：正の関連
・活力：正の関連

「学校とのつながり」と「社会的態度・行動」の各下位尺度とは、いずれも有意な正の関連を示した。

「学校とのつながり」と生徒の行動との仮説と検証



【今後の展望】

・継続調査を通じた**縦断的な検証**、小学校・高等学校など**他校種や他地域への展開**、生徒調査に加えて**教職員調査・保護者調査の整備**、学校風土以外の**教育データとの接続**の検討、調査結果の**フィードバック方法の検討**等を進め、学校風土研究を発達支持的生徒指導の理論化と実践化、さらには教育委員会による継続的な学校改善支援へと接続していくことを目指す。

学校風土調査は、学校を序列化するのではなく、強みと課題を確認し、改善に向けた対話を促すための形成的データ。